事 務 連 絡

平成26年4月17日

各都道府県水道行政担当部（局）
各厚生労働大臣認可水道事業者
各厚生労働大臣認可水道用水供給事業者 御中

厚生労働省健康局水道課

千葉県香取市で発生した水道施設への侵入事件について（情報提供）

水道行政の推進につきまして、平素よりご尽力及びご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本件事案は、平成26年4月10日に確認され、香取市水道事業の配水池の蓋の鍵が壊され、蓋が開いたままの状態にされていたものです。同市の報告によれば、その詳細は別紙のとおりであり、本件事案による水道利用者への健康への影響は確認されていません。

本件事案は、水道法第2条第1項に定められる、国及び地方公共団体の責務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるものであり、各水道事業者等におかれましては、「兵庫県宝塚市で発生した配水池施設への侵入事件について（情報提供）」（平成25年6月5日付け事務連絡）も踏まえ、水道施設の警備体制の強化、委託先からの情報も含めた迅速な情報収集の体制の確立、職員教育及び被害発生の抑制（監視カメラや感知センサー等の設置、自動水質監視機器の設置、浄水施設の覆蓋、適切な施錠等）等の予防対策により、引き続き水道施設の防護対策を徹底していただきますようお願いいたします。

また、各都道府県水道行政担当部（局）におかれましては、貴管下の水道事業者等に対して周知をお願いいたします。

千葉県香取市における水道施設への侵入事件について

現時点において、把握していることは以下のとおりであるが、侵入者が不明であることなどから、引き続き調査をしていくこととする。

1 事件の概要

- 4月10日、香取市下飯田増圧ポンプ所の配水池の蓋の鍵が壊され、蓋が開いているのを施設管理業者が発見したことを受け、水道水の安全確認のため、水道事業者が給水場からの配水を停止し、緊急断水（～4月11日）した。

2 事件発覚後の初動対応

- 10時30分 施設管理業者が、配水池の蓋の南京錠が壊されて蓋が開いている状態を確認
- 12時00分 施設管理業者から上記の連絡が同市水道工務課にあり
- 12時40分 同市職員により給水停止 断水世帯数340世帯（給水人口(概算)970人）
- 13時20分 給水車手配（給水ポンプ車1台、ダンプ給水車2台）
- 13時55分 香取警察署へ被害届を提出。その後、現場検証
- 15時00分 高架水槽の水の入れ替え作業開始

なお、本事件を受けて香取市が実施した臨時の水質検査の結果、当該増圧ポンプ所配水池等の水道水質について、いずれも異常は見受けられなかった。

3 従前の維持管理方法

- 配水池については毎日、委託業者がフェンスの外観、敷地内部施設の点検を実施している。その内、当該施設の配水池上部点検口の蓋については、適宜点検している。なお、点検で異常が認められた場合には、至急修繕、交換を行っている。
- 第三者が侵入しないよう、①立ち入り禁止看板の設置、②敷地廻りに高さ2.25mのフェンス（上部に有刺鉄線3段）を設置、③フェンスに施錠するなどの対策を講じてきた。

4 事件が発生した要因

- 当該ポンプ所の配水池の点検を実施したところ、配水池上部点検口の蓋の南京錠が切断されており、点検口の蓋が開いていた。

5 今後の対策

- 配水池点検口の点検を毎日行う。
- 施錠については、ステンレス製などのより堅固な鍵に交換する。
- フェンスの改良など侵入防止策を講じる。
- 異常の通報を含め、対応を迅速化する。